



小松市立松東みどり学園

令和4年 2月

学校だより



卒業式まであとわずかになりました。9年生は、3月の公立高校の入試が終わるまで気が抜けません。全校で9年生を応援しながらも、巣立っていく寂しさを感じています。義務教育が終わることの節目は、どの子にとっても大きなことです。小学生は、これまではそのようなことは知ってはいても、身近で見ることがなかった子どもたちもいるので、9年生の頑張りや大変さをなんとなく感じています。まだまだ新型コロナウイルス蔓延防止のため、いろいろな行事や取り組みが中止になっています。学校にもなかなか来ていただけず、卒業式もいつもならたくさんの来賓の方々に来ていただきお祝いをいただくところですが、市の方針として人数をおさえるため参観いただくのは保護者の方と育友会会長のみとなりました。



卒業式のあとは、6年生の前期課程修了式も控えています。同じ学校とはいえ、小学校の課程を修了し、中学生になるという節目はとても大切です。こちらは校内の行事ですが、6年生の保護者の方にご参観していただければと思っています。

立志の行事

2月5日に予定されていた立志式が中止となりましたが、公民館からは記念品とお饅頭が8年生に届きました。本来立志とは、

「元服にちなんで（数え年の）十五歳を祝う行事。参加者は、将来の決意や目標などを明らかにすることで、おとなになる自覚を深める。」

という意味があります。8年生も、それぞれの決意を胸に受け取りました。立志式で来ていただく予定だった書道家の土居先生には、別日に来ていただき、8年生に好きな漢字を習字で書く指導をしていただきました。自由に書いた作品は、どれもものびのびと個性にあふれ、素晴らしい作品になりました。子どもたちも大事に家へ持って帰りました。



学校評価アンケートのご報告

今年度、2回の学校評価アンケートを取らせていただきましたが、分析した成果と課題をお知らせいたします。

児童生徒アンケート結果について

※太字・下線部は前期・後期共通して肯定的回答の項目

前期課程 1～6年生

肯定的回答が高い質問（90%以上）

- ・学校生活は楽しく、充実している
- ・みんなと協力している
- ・よりよい学校とするために考えて行動している
- ・発表するときは、うまく伝わるよう根拠をもとにして工夫して発表している
- ・授業の最後に、わかったことやできることが増えたと感じる
- ・毎日朝食をとっている
- ・自分で計画をたてて勉強している
- ・勉強時間は、10分×学年よりも多い

肯定的回答が低い質問

- ・就寝時間
 - A 10時よりはやく 23%
 - B 10時から11時 52%
 - C 11時から12時 22%
 - D 12時より遅い 3%
- ・家族の一員として家族の役に立つ仕事をしている 77%



後期課程 7～9年生

肯定的回答が高い質問（90%以上）

- ・学校生活は楽しく、充実している
- ・みんなと協力している
- ・よりよい学校とするために考えて行動している
- ・課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組む
- ・話し合い活動を通じて色々な視点から自分の考えを見直したり、他の考えを取り入れたりできる。
- ・授業の最後に、わかったことやできることが増えたと感じる

肯定的回答が低い質問

- ・勉強時間
 - A 2時間以上 23%
 - B 1～2時間 52%
 - C 1時間～30分 22%
 - D 30分以下 3%
- ・自分で計画をたてて勉強している 65%

☆前期課程・後期課程とも授業に関する肯定的回答が高かったです。特に前期課程は、中間アンケートより、年度末アンケートの方が高かったです。後期課程は、逆に期末において数値が下がったものもありましたが、どの項目においても80%を超えていました。中学生は、小学生より自分にやや厳しめの回答をする傾向も見られました。

★前期課程は、「お手伝い」や「就寝時間」に、後期課程は「家庭学習の時間」に課題が見られました。

保護者アンケート結果について

	内容	前期児童	後期生徒	保護者
1	喜んで学校に行っている	94%	91%	93%
2	自分で計画を立てて勉強をしている	92%	65%	67%
3	集中して家庭学習に取り組んでいる	88%	75%	64%
4	学校はお子さんのことについて相談しやすい			83%

☆児童生徒と保護者のアンケート結果がほぼ同じだったのは、「学校へ楽しく行っている」という項目でした。

★児童生徒と保護者との回答に差があったのは家庭学習でした。特に家庭学習については、後期課程でも勉強時間に課題が見られたことから、今後も個に応じて指導が必要だと考えています。

保護者の方からのコメントとして、どの学年も「心や体の成長のために、ご家庭で心がけていること」で多かったのは、

- ・ 会話をするように心がける（少しの時間でも）
- ・ いっしょに家族と過ごす時間
- ・ 学校での様子を聞く
- ・ 早起き、朝ごはんを家族で食べる
- ・ あいさつ「おはよう 行ってきます ただいま」等
- ・ ほめる、マイナス（否定的）な声かけをしない



と、家庭での関りや時間を大切にしているコメントが多かったです。また、学年が上がるにつれて、

- ・ 子供から学校での出来事など話や相談は真剣に聞く
- ・ 自分で考えさせる、自主性を重んじる
- ・ 自分で決めたことに対して責任を持たせる



等、自立を意識した回答が多く見られました。中には、成長過程の一つとして、

「反抗期で急にしゃべらなくなったり態度が悪くなっても、そこには触れずに放っておく。気が済んだら数日で戻るの、これも成長の一つと思い我慢しています。」
 「子供が学校でどうしているか（勉強・友達関係・部活動など）とっても気になりますが、本人から話してくれるまでいちいち深く聞かないようにしています。子供を信じるように頑張っています。本人から話し始めたらしっかり時間を作って聞く。一番の味方だと常に伝える。」

というコメントもありました。

「本校の教育活動やお子さんのことで「よかった」と感じられること」の主なコメントとして、前期課程では、

- ・体育祭などの行事で、本来ならあまりかかわることのない7～9年生の姿を見て、「こんな風になりたいな」など、憧れがあったり、数年後の自分をイメージすることができている。
- ・他の学年との関わりがあることで、憧れを抱いたりもしているようで、すごかった、というような話をよく聞きます。7～9年生も遊んでくれているようで、名前を家で教えてくれます。そこがよかったと感じます。

後期課程では、

- ・小・中と多学年と一緒に過ごすために難しいことも多いと思いますが、体育祭・文化祭とお互いに思いやりをもって取り組まれていてよかったと思っています。上の学年は下の学年のことを考え、下の学年は上の学年の姿に刺激され、素敵な関係が気付いているように思います。
- ・小学校と中学校が一緒になったことで、下級生への、特に小学生への思いやりが出てきたように思う。
- ・松東みどり学園の9年課程になったことで、中学3年課程よりも年下の学年の生徒さんとのかかわりが多くなり、心が豊かになったのではと思います。

というコメントが見られました。ほかにも、本校ならではの活動に対しても

- ・先生も保護者に笑顔で話しかけてくれる。生徒から先生へ要望を伝えると、その都度学校が対応してくれる。
- ・プロジェクトの発表では、PCを使って一人ひとりみんなの前で発表したが、完成度の高さに驚いた。PCでの学習内容を知ることができ、よかった。
- ・漢字、計算検定です。勉強の意欲が出てきてよかったです。

子どもの頑張りや成長を応援してくださっているなど感じるご意見も多くありました。

けれど、「よかった事だけではなく、様々な意見を伝えられるアンケートだったらよかった」というご意見もありました。全てのコメントを記載することはできませんでしたが、学校に対して数々のコメントでの課題もいただきました。今後、学校評議員会で、全ての結果をご報告し様々なご意見・ご助言をいただくことになっています。課題に関しては、全教職員で共有し、よりよい学習や環境の改善に努力していきたいと思っております。

今年は児童生徒会からもいろいろな要望があり、子どもたちがやりたいこともできるだけ、希望が叶うようにしてきました。子どもたちからの要望に学校が応えてくれるという体験を通して、学んで欲しいと思っているからです。アンケートでは、学校や教職員への励ましのお言葉もあり、とてもありがたかったです。教職員一同、松東みどり学園の今後のよりよい教育に向けて尽力していきたいと思っております。

今後とも、アンケートの機会だけでなく、何かありましたら学校へご連絡いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。